



みょうけん こういちろう
明見 孝一郎

明日を見据えて全力投球!!

平成29年4月発行
明見 孝一郎
後援会 会報

発行責任者 妹尾 貴之
編集責任者 谷岡 雄大
《内部資料》

◆平成29年 第21回尼崎市議会定例議会ご報告◆

第21回市議会定例会が平成29年2月20日から平成29年3月24日までの33日間の会期で開催されました。市長から**条例案19件、予算案23件、その他の議案17件、人事案2件**が提出され、常任委員会並びに予算特別委員会にてその審査を行い採決の結果、**全ての議案が可決されました。**

予算特別委員会では分科会審査の後、会派を代表して総括質疑を行いました。平成29年度当初予算においては、**ファミリー世帯の定住・転入促進**に重点をおいた予算編成がなされており、なかでも本市の魅力や特性を活かす取組みの必要性や行財政改革推進において、スピード感を持って取組む事業と丁寧な進め方を必要とする事業を照らし合わせた質問をしました。その他の項目については、以下、予算審査の一部を報告します。

◆平成29年度 施政方針（概要）◆

昨年、市制100周年の節目を経験し、新たな未来への礎となる取組みとして旧聖トマス大学施設を“あまがさき・ひと咲きプラザ”として整備し、誰もがいくつになっても学び続けることができる“学び”の先進都市を目指す“ひとづくり”、今後再建が進む尼崎城など新たな資源を活かし、交流人口の増加と地域経済の活性化を目指した“まちづくり”を進めます。

平成29年度の**重点化施策は、ファミリー世帯の定住・転入促進**に向けた予算の配分となり、**①学校教育・社会教育と人材育成、②子ども・子育て支援の充実、③シビックプライド*の醸成**となりました。①については、“あまがさき・ひと咲きプラザ”に、『**学びと育ち研究機関**』を設置し、今後の政策立案や教員の更なる指導力向上を実施。②については、保育施設などの待機児童のエリア的解消に向けた取組みや、法人保育園への建替え費用の一部補助を実施。③については、まちの魅力を高めること及び課題を解決していくことを重要とし、さらに“**尼崎市自転車まちづくり推進条例**”を制定し自転車を活かしたまちづくりを推進するとされています。

行財政改革プロジェクトでは、“**収支均衡**”と“**将来負担の抑制**”に取組み、平成29年度の予算では収支不足を借金で補う手法から脱却することができましたが、学校耐震化や空調整備などの対応により将来負担の抑制については中期目標達成が厳しい状況にあります。ありたいまちへ向けた取組みをチェックし、必要に応じて改善しながら進めてきましたが、今後も課題や環境が変化するなか、100周年で実感した“**市民の力**”、“**みんなの力**”で将来へつながる取組みができると確信し、“**ひとづくり・まちづくり**”に全力を尽くしてまいります。



* シビックプライドとは：個人個人が都市に抱く「誇り」や「愛着」のこと

◆平成29年3月定例会 総括質疑◆

【質問】スピード感を持った重点施策の取組みについて

総合戦略基本目標の1つである『**ファミリー世帯の定住・転入促進**』の効果を求めるには大変月日が経過しなければ評価できないと思われるが、重点施策の『**あまがさき・ひと咲きプラザ整備事業**』や『**学力向上事業**』などは効果が見えにくく、スピードを持った取組みとは思えないがどうか。

【答弁】企画財政局

議員ご指摘の通り、学びと育ちに係る取組みにつきましては、『**学力向上事業**』のように短期間での事業効果が見えにくく、小・中学生の学力が全国平均レベルに到達するのに約10年の歳月を要するものや、『**学びと育ちの研究機関**』のように、一定期間研究に取組むことによって効果が現れるものもありますことから、中長期的な視点で取組むことが重要であると考えております。一方で、このような取組みを重点的に実施し、また、効果が現れていることに時期を逸することなく、市内外に広く情報発信していくことによりまして『**ファミリー世帯の定住・転入促進**』につなげてまいりたいと考えております。

【質問】まちの特性を活かしたファミリー世帯の定住・転入促進の取組みについて

環境モデル都市としての事業の積み重ねが『**ファミリー世帯の定住・転入促進**』に向けた取組みであると考えとともに、その取組みは経済環境局だけでなく、企画財政局、都市整備局等と連携し、調整を行いながら精力的な取組みを進めるとしているが取組みの成果についてはどうか。

【答弁】企画財政局

企画財政局においては、ファミリー世帯に送付している『**3歳からのあまらぶ BOOK**』で環境モデル都市について情報発信しているほか、3月21日にオープン予定の定住・転入促進情報を発信するウェブサイトにおいてもPRしていく予定としております。



【答弁】都市整備局

都市整備局における具体的な取組みといたしましては自動車利用を抑制し、自転車利用への行動変化を促すため、自転車走行区間を整備し自転車ネットワーク化の推進を図ると共に街路灯を環境に配慮したLED灯に順次改修することでCO2の排出量の削減に努めております。また、市民や企業の環境に配慮した取組みを側面からサポートするため、雨水貯留タンクの設置助成金等の事業を実施いたしております。

【質問】南部臨海地域における南海トラフ巨大地震対策について

南部臨海地域に就労される方々に対する地震津波対策及び避難誘導のための情報伝達手段に必要な戸別受信機のあっせん、避難経路や一時避難場所のさらなる準備が必要だと感じています。これらの進捗状況はどうか。

【答弁】危機管理安全局

南部臨海地域の防災・減災の取組みは極めて重要であると認識しており、ハード面では県の『**津波防災インフラ整備計画**』に基づき取組んでおり、ソフト面では防災講座及び防災訓練の支援、津波からの防護及び円滑な避難の確保等を定めた『**南海トラフ地震防災対策推進計画**』を今年度策定したところでございます。個別受信機のあっせんにつきましては、アンテナ工事が必要であるなど、価格が高価であるといった課題があり、新たな情報伝達手段の検討を引き続き行っているところでございます。避難方法につきましては、可能な限り原則徒歩でJR神戸線以北かつ河川から離れた場所へ水平避難を行っていただき、避難が遅れた場合や長い移動

ー続きー 【質問】 南部臨海地域における南海トラフ巨大地震対策について

が困難な場合には、緊急一時的に津波等一時避難場所へ垂直避難を行って頂くよう啓発に努めているところでございます。南部臨海地域の津波等一時避難場所につきましては、28箇所、約4万1,900人が収容可能となっており、南部臨海地域の従業者数約2万7,000人に対して一定充足しているものと考えておりますが、議員ご指摘の通り避難経路となる道路の渋滞や混雑の発生等、様々な事態が想定されることから、今後も津波等一時避難場所の拡大に努めるとともに、津波浸水が想定される事業所に対して自らの防災対策計画の作成も含めた啓発に引き続き取り組んでまいります。

【質問】 スピード感と丁寧さを持った行財政改革の必要性について

PDCA*サイクルを意識した行政運営並びに予算編成に取り組まれている事に対しては一定の評価をし、更に効果的・効率的な運用ができるよう期待をしているところではありますが、行財政改革や重点施策に掲げる項目以外の通常業務遂行においては市長からの行財政改革に対する指示が全庁に伝わっていないように思うがどうか。

【答弁】 総務局

役職以外の職員に適用する人事評価（目標管理）制度につきましては、組織のトップである市長の思いが伝わる制度としておりますが、今後も職員が一丸となって課題を解決すべく果敢に取り組める制度となるように、必要な見直しを行いつつ適正に運用してまいります。

※ PDCAとは：Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Action（改善）の4段階を繰り返すことによって業務を継続的に改善すること

◆平成29年度当初予算トピックス◆

【今後の尼崎市民まつりについて】

尼崎市民祭りは市制の誕生を祝い、市民相互の親睦と連帯意識を高め、尼崎市の発展を図ることを目的に昭和47年に第1回尼崎市民まつりがスタートしました。昨年、市制100周年の節目に第45回市民まつりを盛大に開催し、多くの方が参加され盛会裏に終えました。しかし、より魅力あるものとして継続させていくことを目的に、平成29年度については、開催を見送り検討期間とすることとしています。これまでの経過は、第30回までは市が主催していましたが、第31回からは、市民まつり協議会が主催する形になり、第36回からは、事務局機能まで市民まつり協議会へ移管してきました。今後の検討期間については、市民アンケートなどを実施しながら次回開催に向けての準備を進めるとしていますが、一旦立ち止まることによって更なる魅力が増大できるのか懸念を抱いています。シビックプライドの醸成を考えると、市がリードして主催できない現実は大変厳しい現状だと考えています。



写真：尼崎市民祭り HP より

【学校教育・社会教育と人材育成について】

子どもから大人までの学びと育ちを支援する拠点となることを目指し、旧大学施設後を『あまがさき・ひと咲きプラザ』とする整備が進んでいます。今後、青少年への『学び』と子どもへの『育ち』を支援する施設として整備が進みます。さらに、学校教育・社会教育・子育て支援・青少年健全育成・地域コミュニティ醸成等、行政組織の垣根を越えまちづくりの担い手とし、ともに学びあう場となることを目的としています。

ー右上へつづくー

ー続きー ～学びと育ち研究機関設置運営事業の概要～

教職員に加え外部の研究者等を迎えて多様な実践を行うとともに、中長期的な効果測定を行うなか、科学的根拠に基づく教育政策の研究等を行うため、学びと育ち研究機関を設置し運営することを目的としています。

〔正規職員2人増員、嘱託員11人増員〕

平成29年度事業費 168.9万円

＜設置場所＞

あまがさき・ひと咲きプラザ
(旧聖トマス大学)
ひと咲きタワー10階



【シビックプライドの醸成について】

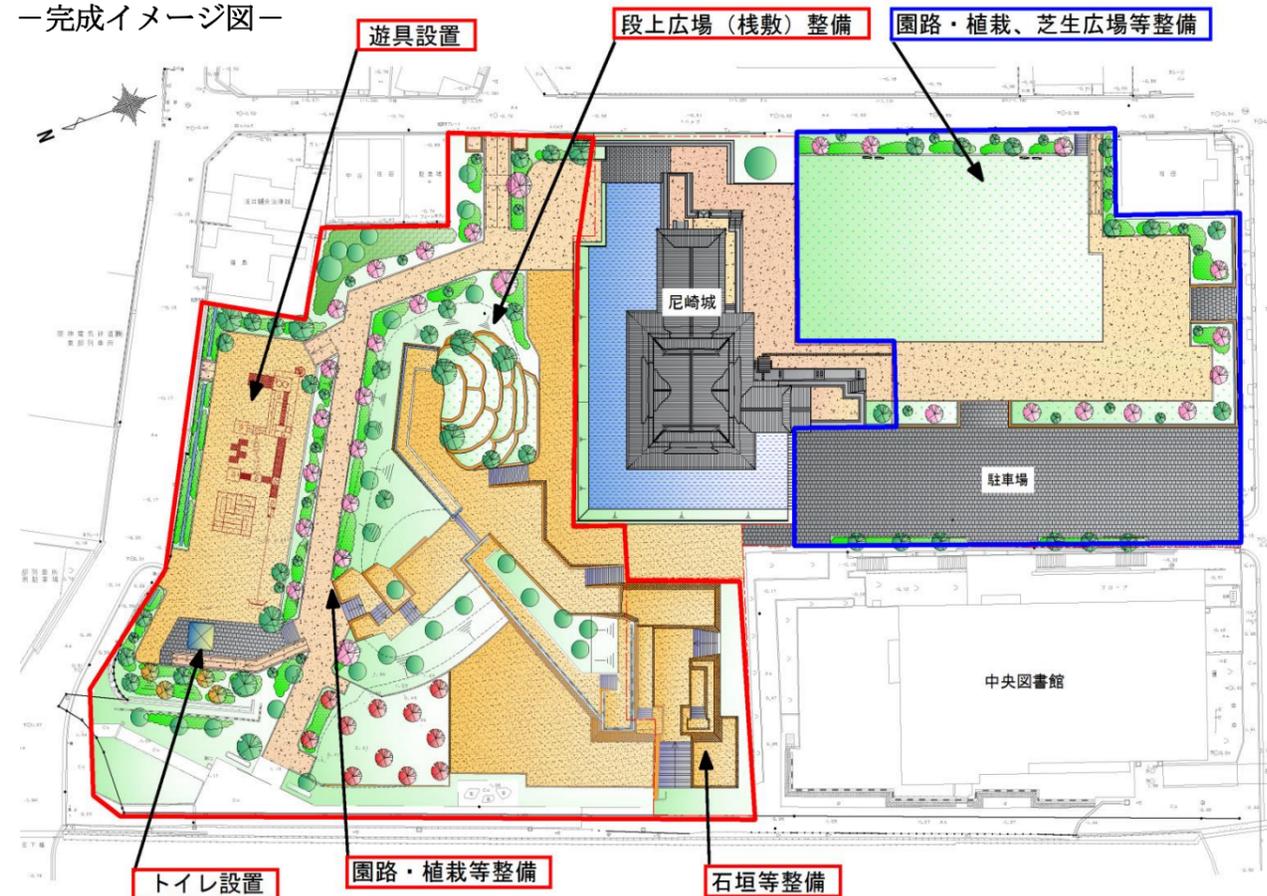
歴史・文化などの魅力を市内外の方々に効果的に発信し、地域への誇りと愛着を醸成するとともに、交流人口の増加と地域経済の活性化を目指した、観光地域づくりを進めることを目的としています。

～尼崎城址公園整備事業の概要～

城内地区整備計画の一環として、歴史文化的環境との調和のとれた憩いの空間を整備することで都市拠点としての機能強化とまちなかの再生を図り、尼崎城と一体的な整備を行うことにより、公園利用者の増加や市民のシビックプライドの向上を図ることを目的としています。

平成29年度事業費 3.9億円

ー完成イメージ図ー



市政に関するご相談等がございましたらお気軽にご連絡下さい
明見孝一郎後援会連絡所 〒660-0095 兵庫県尼崎市大浜町 2-26 TEL:06-6415-2131 FAX:06-6415-2133